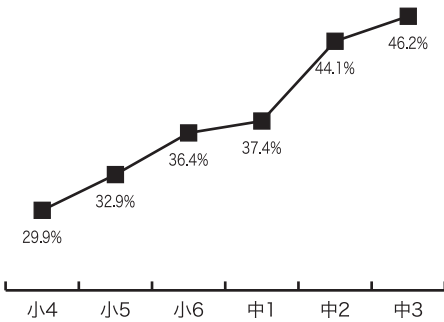


子どもが自信と誇りをもてる教育の実現に向けた取組を進めます

○葛飾区の子どもの状況

区が実施した「確かな学力の定着度調査（4月16日実施）」における学習意識調査によると、「自分には、良いところがあると思いますか」との問いに、「まったくあてはまらない」と答えた子どもの割合は、小学校4年生から学年が進むにつれて上昇しており、自分のよさに自信をもてない子どもが増えていることがわかりました。

「自分には、良いところがあると思いますか」との問いに、否定的な回答をした子どもの割合



「確かな学力の定着度調査」からの分析によると、子どもが自信や意欲をもつて社会に参画していく力となる自己肯定感や自尊感情は、学力との関係関係があることがわかっています。つまり、自分の良いところを認識できると回答した子どもは、学習に前向きに取り組むことができ、学力が高い傾向にあります。

でき、学力が高い傾向にあります

（広報かつしか 8月5日号に掲載）

○子どもが自信と誇りをもてるための取組

これからの次代を担う子どもたちに、自分のよさに気付き、自信をもち、他者と積極的にいかかわって豊かな人間関係を築いていく力を高めることが大切です。

子どもたちが自信と誇りをもてる教育の充実には、学力の向上によい影響を及ぼすとともに、これからの社会で必要とされる「生きる力」をはぐくむことにもつながるものです。葛飾区では、次代を担うすべての子どもに「学校が楽しい」、「授業がわかる」、「やればできる」と実感させる教育が重要であり、子どもが自信と誇りをもてる教育を重要な視点として位置付けています。

そのためには、子どもと直接かかわる教員の授業力の向上が不可欠であり、各校における研修に加え、教育委員会が実施する「若手教師塾」や「授業力向上プロジェクト」などの教員研修の充実を図ってまいります。

ただし、この取組は学校だけで担えるものではなく、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら連携し、協働していくことが大切となります。

葛飾区のすべての子どもが自信と誇りをもてるよう、ともに取り組んでいきたいと思います。ご協力をお願いします。

教員が学ぶ葛飾区独自の授業力向上研修の実施について

子どもたちの学力向上を目指し、わかりやすい授業を実現させるため、教員の経験年数や職層に応じた研修や、外部人材を活用した実践的な研修をしています。

○「若手教師塾」について

平成25年度より、小・中学校の教職経験4年目以降9年目程度の若手教員を対象にした授業力向上を目的とする研修で、受講者19名が、1グループ4名程度の研究班を編成して、よりよい授業を目指す研究を行っています。

具体的には、学習指導や生活指導など教員に求められる力をさらに深め、効果的な授業改善に結び付ける研修内容で、大学教授等の講義や実際に授業を行うことを通して相互研鑽を行っています。

今年の夏には葛飾区日光林間学園で1泊2日の夏期集中研修を実施しました。宿泊研修では、教員同士が相互交流を図り、研究内容を充実させるとともに、大いに教育について語り合うことができました。



互いの授業実践における課題について語り合う教員（若手教師塾の夏期集中研修：日光林間学園にて）

指導室 ☎(5654)8471

○「授業力向上プロジェクト」について
本プロジェクトは、教職経験8〜10年程度の中堅教員を対象として、小学校及び中学校各10名で実施しています。大学教授等の有識者による授業観察を中心に、教員自身の授業アンケートと児童・生徒の授業アンケートを分析しながら、授業における課題を把握し、授業改善を図ってまいります。

対象教員がいる学校では、本プロジェクトの授業改善のための方法について、校内の他の教員にも情報を提供して、学校全体で活用しています。今後、区内のすべての学校に指導法のテクニックを紹介していく予定です。